

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価の調査項目です)

取り組んでいきたい項目

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『九人九色の暮らしをサポート』の理念を掲げて、地域との交流や利用者1人ひとりに寄り添った個別ケアを行っている。		同左
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	短い言葉の中にも沢山の思いが詰まっている理念を墨書きで壁に掲示している。月1回の全体ミーティングと2週間に1度のショートミーティングでは、個人の意見を繁榮し、発表する場を設け、職員皆で話し合い実践へとつなげている。		新職員には、早期にオリエンテーションを行い、理念・方針をしっかりと把握してもらい共有していきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	2ヶ月ごとに推進会議、半年ごとに家族会を開催し、協力しあえる関係作りを構築する取り組みを行っている。また、地域の方やご家族をお誘いしてのイベントを行ったり、地域の店に利用者が外出する機会を設け交流を図っている。		同左
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方に積極的に挨拶を交わしたり、施設で作った物をお渡しする等、近隣の方との信頼関係作りにも努めている。		同左
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会にも入会しており、公民館での文化祭や老人会のランドゴルフにも参加をし、地域との交流に努めている。		外出がお好きな利用者様が多いので、これからも参加できる行事を見つけたら積極的に外出をし交流を深めていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的な地域推進運営会議にて、医師による成人病などの勉強会を開いたり、隣のデイサービスいやしの杜にて夕方行われているピロ温圧灸治療のご案内や施設周辺のゴミ拾いを行っている。		同左
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価を行い、皆で検討することになっている。前回の評価結果は職員のミーティングだけではなく、地域推進会議でも取り上げて改善に取り組んでいる。		同左
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・民生委員・町内会長・老人会長・地域の医師や介護支援専門員・また地域包括支援センターの方にも参加していただき、他方面からの情報交流を行っている。		同左
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域推進運営会議での議事録を市区、社会福祉協議会、包括支援センターにも提出し、いつ訪問して頂いてもいいようにしている。		同左
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修に積極的に参加し、成年後見制度を利用している利用者が3名いらっしゃるので、関係機関や担当者との連携・協力を行っている。		同左
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待等あってはならぬ事なので、研修会等でしっかりと学び、虐待防止に努めている。		ミーティングで伝達講習を行い、皆で勉強会を行っていききたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族からの質問には、その都度対応して理解・納得を得るまで説明を行う。		同左
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しているが活用されていないため、ご家族に声かけし、意見を聞かせて頂くようにしている。利用者・ご家族の意見はしっかりと傾聴しその都度対応をしている。		同左
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族来設時には必ず声かけを行い、個人記録を提示して、健康状態や日常生活の報告をしている。また、毎月ホーム便りや写真を掲載した家族向けの新聞(焼いも)、家族会で説明を行う。キーパーソンへはその都度電話連絡を行っている。		同左
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時には声をかけ、少しでも気づいた事があれば話して頂くようにしている。ご家族の意見をスタッフ間で話し合い運営に反映させている。		同左
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティングを毎月1回と各週ショートミーティングを行い、その都度意見を聞き入れる機会を設けている。		同左
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者主体の勤務表を作成し、必要に応じて職員の勤務調整を行っている。		同左
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に異動は必要最小限に抑えている。日常の関わりの中で、他部署職員との交流の場も作っている。新しく職員が入っても1ヶ月程度は日勤だけとし、少しずつ馴染みの関係作りを築くようにしている。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	差別などはなく、職員は目標を持って1人ひとりの仕事に対する方向性を確認しながら、自分の仕事を自信を持って行えるように配慮している。		同左
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育に関する勉強会や研修に参加をし、職員の意識向上を図り、利用者に対する言葉使いに注意を払っている。		同左
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政や事業者協議会主催の研修案内の掲示により外部研修に参加している。研修参加後は報告会や報告書の閲覧による知識の共有に努めている。また、職員が平等に研修に参加できるよう考慮している。		同左
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、他施設との合同レクリエーションを行い交流の機会を設けている。また、グループホーム協議会の勉強会や他施設との交流を通じて、サービスの質の向上に努めている。		同左
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	交代で昼の休憩を取り気分転換をすることや、グループ内の整骨院を開放し、職員に活用してもらっている。時には、食事会+飲み会を行っている。		同左
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	責任を持って業務を遂行できるよう、業務の役割分担をしている。皆で協力したり、向上心を伸ばすような働きかけをしている。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者の今の思いを傾聴し、サービス計画書を掲げるとともに、利用者のニーズ、それに対しての具体的なケアを職員間で共有している。		同左
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	顔合わせも含め、家族会やイベントに参加して頂くことにより、ご家族の不安などを受け止める場を作っている。		同左
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者や家族のニーズに合わせ、他の施設及びグループ事業所との連携を図りながら、サービスの向上に努めている。		同左
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活歴を含めた事前情報をきちんと把握した上で、その方に合わせた環境整備を行いながら、職員・利用者と良好な関係作りが構築されるよう、サービスを考えている。		同左
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物のたたみ方や干し方、梅干や酢らっきょうの作りかた等、利用者から職員が教わり、日常の関わりを通じて、お互いに学び支えあう関係作りを行っている。		同左
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会や運動会、イベント等へ家族の参加を促し、一緒に支えあう環境作りを行っている。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	外出企画や誕生日会への参加を促したり、コミュニケーションをとる時間をもうけている。		同左
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	文通の支援をしたりホーム便りを活用して、良好な人間関係の継続を支援している。		同左
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士関わりが持てるよう、食事やアクティビティを通じて、交流の場を設けている。		同左
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された利用者様宅を利用者とともに訪問したり、病院に面会に行くなど継続している。		同左
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者個々に担当職員を決め、アンケートを取ったり日々の関わりの中で1人ひとりの思いを傾聴し希望や意向の把握に努めている。		コミュニケーションの機会を今後も多く持ち、情報収集に努めていきたい。
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式も取り入れ、利用者やご家族から情報を頂き、細かいところの把握に努める。		同左
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	リーダー(E業務)を中心に引きつぎを密に行い、連絡ノートによる確認をする。また、バイタル・食事一覧表と個人記録表を使用しながら、状態の把握に努めている。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の希望、意向を担当職員が把握し、支援していくための具体的な目標・対応をミーティングにて協議し、介護計画に反映させている。		同左
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて、スタッフ間でのミーティングを重ね評価を行い、状況に応じた介護計画の見直しを行っている。		同左
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者個人の状況は24時間細かく記入をして情報把握を行いながら、介護計画の見直しに活用している。		同左
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の連携や通院介助、外泊・外出の際の自宅への送迎も対応している。ご家族旅行時の相対者への宿泊の場としても提供している。		同左
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	防災訓練では、消防署との連携を図っている。夏祭りや運動会では民生委員やボランティアの声かけも行っている。		同左
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	医療機関との連携を図り、訪問リハビリ・訪問マッサージや訪問看護・訪問歯科などを利用している。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターには、地域運営推進会議へ出席して頂き、利用者またはその家族の支援も協働して行っている。		同左
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	グループ内の協力医師による往診が2週間に1回あり、入所以前からのかかりつけ医への受診も対応している。		同左
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医等、認知症に詳しい医師と関係を築きながら、相談をしたり利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。		同左
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者をよく知る看護師と気軽に相談をしながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		同左
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	原土井病院と連携を取りながら、いつでもそういう場合に対応ができるよう備えている。		同左
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者1人1人にとって、どういう介護が大事なのか家族とも話し合い、コンセンサスを得ながら方針を共有している。		同左
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療との連携を図り、本人やご家族の希望に添えるよう、施設の特徴に応じて対応している。またターミナルケアの研修にも参加をしている。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	以前お住まいの部屋と同じようにしたり、本人が大切にしている物は持参していただき、念入りに打合をして、今までの環境を大切にしている。		同左
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録や個人情報は鍵付きの棚に入れている。また、接遇などの研修に積極的に参加している。		言葉使いに馴れ合いが生じないように気をつけている。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	どのような活動に対してでも、その方に分かりやすいよう活動内容を説明し、納得された上で行動していただく。		同左
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出したいという方がいれば外出援助を行い、入浴したいという方がいれば好きな時間に入浴していただき、希望に添った個別ケアを行っている。		同左
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	化粧をしたいという方には自室に道具を置いて毎日おしゃれを楽しまれている。訪問カットサービスを利用しており、整髪する際には本人にも見えるように鏡を使用している。		同左
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、利用者と一緒に食事の注ぎ分けをしており、同じテーブルで会話を楽しみながらの食事をしている。また、月2回はリクエストのあったメニューを利用者と一緒に手作りして(作って食べよう会)楽しみとなっている。		利用者希望の夕食も増やしていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	過剰摂取に気をつけながら、時には一緒に買い物に行き、お好みの物を購入して召し上がることもある。		酒やタバコのニーズは今のところないが、そのニーズがあれば対応していきたい。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夏場は特にリハビリパンツを控え、綿パンツに尿取りパットを使用し、排泄リズムに応じてトイレ誘導することで失禁を減らすように心掛けている。また、入眠前のトイレ誘導と、夜間のその方のリズムに合わせた声掛けにより排泄の促しを行っている。		同左
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1度は入浴しているが、希望を伺い、毎日お好きな時間に入浴される方もいる。		同左
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自室でゆっくりしたり、リビングや廊下のソファでくつろげるように個人の時間も大切にしている。睡眠パターンも把握し、日中の活動を増やして夜間の安眠に繋げている。		同左
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸、掃除、食事準備、おしぼり作り、音読、漢字・計算ドリル、ぬりえ、物作りなど、本人のできることや希望のものをされ楽しまれたり、役割として習慣化したものもある。		マンネリ化しないように新しい楽しみを提供していきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っていたいという方には(千円ほど)自己管理していただいているが、ご家族の希望もあって殆どの方のお小遣いを事務室にて管理している。		同左
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月1回は全員で外出する企画を立て、実行している。また、玄関前を自由に散歩したり、希望があれば気分転換に車でドライブに出掛けることもある。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	マリエラのクルージングランチや野球観戦、イチゴ狩り、工場見学、グランドゴルフ・・・などいろんな所に出掛けたり、家族同行での外出や外泊のお手伝いもしている。		利用者の行きたい希望の場所があれば、どんどん出掛けることができるように企画していきたい。
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠くにお住まいのご家族から毎日かかってくる電話を取次いだり、ワークショップで年賀状・暑中見舞い作りをして、やり取りのお手伝いしている。		同左
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	誕生会やイベント等の案内を家族や馴染みの方々に送って参加を募ったり、いつ訪問されても時間や場所に縛られずに、好きなだけ一緒に過ごしていただけるようにしている。		同左
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践	トイレでの排泄時に転倒防止の観点から、前方に棒を設置することも考えたが、これも身体拘束になるのではないかと職員間で話し合い毎回付き添い見守ることで拘束のないようにしている。		同左
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	離縁による行方不明などの危険を理解しつつも、鍵をかけることはせずにベルやブザーで外へ出たことを感知できるようにしている。また、玄関口の見えるリビングには職員が必ず1名居ることを徹底している。		地域推進運営会議を通じて地域の方や近くの消防署の方へ利用者を認識してもらうようにしていきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間でリーダー(E業務)を中心に利用者の所在や様子を把握している。事故の危険がない限りはプライバシーを守ってケアを行い、夜間も定期的に巡回し様子観察している。		同左
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	誤飲の危険のあるものや刃物等は指定の引き出しや事務所に収納し、必要時のみ取り出して使用している。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤薬防止のためにも服薬時に職員2名でのダブルチェックを行い、転倒防止のためには必要以上に物を置かないようにしたり、転倒の恐れのある利用者の部屋には滑り止めマットの設置やベッドの位置を工夫したりしている。		同左
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の方による心肺蘇生の講習会を行ったり、ヒヤリハットのカンファや起こりうる事故を想定しての勉強会を企画している。		同左
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	建物全体で委員会を発足し、定期的に会議を開き、災害時の対応を話し合っている。また、年2回の避難訓練も実施している。		同左
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族会を開催して意見交換できる機会を設けている。利用者の現状など家族にも包み隠さず伝えて、ケアの方法も説明し、アドバイスをいただくこともある。		同左
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	平常時の身体状況を把握し、毎朝のバイタルチェックと観察にて異変に対応している。気づいた場合には早期に看護師、施設長に報告して職員間で漏れがないように申し送りを徹底している。		同左
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が服薬一覧表を作成し、現在何のための薬をどのように服薬しているのかを職員全員が確認できるようにしている。また、全員の確認印により把握状況もわかる。		同左
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取と毎日15時のヨーグルト摂取を促し、朝・昼の集いや個別リハビリなどで身体を動かしていただいている。便秘が続く場合には医師へ報告、適切な下剤等を処方していただく。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの声掛けと介助を行い、夕食後には義歯をお預かりして漬け込み洗浄を行い、清潔保持と事故防止に努める。		同左
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人が要求される時は勿論であるが、体操後や入浴前後の水分補給は欠かさず、なかなか摂取できない方にはゼラチンや寒天で固形化したものを提供して水分確保している。食事もバイタルチェック表にて把握している。		同左
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎食前や外出後のうがい・手洗いを徹底している。感染症予防には毎日手すりの消毒を行い、嘔吐物・排泄物の処理はゴム手袋を着用している。		同左
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫内のチェックと残り物の処分をこまめに行い、夕食後は布巾やまな板の漂白除菌を行っている。		同左
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	親しみやすい手書きの表札を掛け、花壇には花を植え、玄関横にはベンチを設置している。靴箱の上には利用者に活かしていただいた生花を飾っている。		同左
83	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中、殆どの時間を過ごされるリビングは明るく、心地よい音楽も流れている。		同左

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングと畳の廊下にゆったり座れるソファを設置しているので、昼食後などは各々にお好きな場所でくつろがれている。		同左
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真を飾ったり、自宅から持ち込んだ馴染みの物などで居心地のよい空間作りをしている。		同左
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室は各部屋ごとに換気扇が設置されていて、リビングは朝、昼と定期的に窓を開けての換気も行っている。時季によりエアコンによる室温調整と、冬場は各部屋に加湿器の設置もしている。昨年度よりインフルエンザ時期にはカンファ水使用の加湿器も利用している。		同左
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・廊下には手すりが設置されていて、足元の不安定な方の居室には滑り止めマットを敷いている。転倒防止のため、ベッド等の配置にも気を配っている。		同左
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの表示をしたり、トイレがわからなくなる方には毎回同じトイレを使用していただくように声掛け、誘導する。		同左
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前は狭い空間ではあるが、花壇横で日向ぼっこやシャボン玉を楽しんだりしている。屋上には庭園があるので、よく利用する。また、建物の周りは車も頻回に通るので、外に出る際には注意を怠らないように気をつける。		同左

番号	項目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
. サービスの成果に関する項目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

番号	項 目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない